

## 教材研究の充実

# 問題解決の過程を構想する

たとえば、**学ぶ子どもの意識をつなげて単元を計画したのに**、次のような子どもの姿を目にすることはないか、**振り返って**みましょう。



「今日の授業、道徳じゃなくて、国語みたい」とつぶやく。



活躍する子どもが決まっています、「お客さん」になる。

こんな姿も

この姿が生まれる理由を「**子どもの視点**」から掘り下げてみましょう。

先生の意図とは異なり、子どもは他教科等の文脈で学んでいませんか？

その子にとっての切実感のある「問い」は立ち上がっていますか？

こんな理由も

「**子どもの視点**」に立って、自分の実践を見直してみましょう。

Blank area for reflection with a pencil icon.

「**子どもの視点**」に立って見直した内容を**交流**してみましょう。

(たとえば、こんな問かけで対話を深めていきましょう)

- ・「子どもの視点」に立って実践を見直したら、〇〇先生はどんな気づきがありましたか？
- ・「子どもの視点」から掘り下げて考えたら、こんな問題に気付いたのですが、〇〇先生だったらどう考えますか？



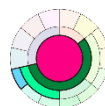
メモ

Large grid area for taking notes.

試みたいこと

「問題解決の過程を構想する」という着眼点で「**子どもの視点**」から授業づくりをする際に心に留めておきたいこと、新たな選択肢として試みたい実践などを記入しておきましょう。

(研修実施日 年 月 日 氏名 )



### 長野県教員育成指標との関連

「問題解決の過程を構想する」は、E「教育のプロ」としての高度な知識や技能の〈学習指導〉⑦〈教材研究〉Planに関連しています。